



TSI HOLDINGS

株式会社 TSI ホールディングス

2023 年 2 月期 通期決算説明会

2023 年 4 月 13 日

イベント概要

[企業名]	株式会社 TSI ホールディングス		
[企業 ID]	3608		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 2 月期 通期決算説明会		
[決算期]	2023 年度 通期		
[日程]	2023 年 4 月 13 日		
[ページ数]	7		
[時間]	10:00 – 10:42 (合計：42 分、登壇：30 分、質疑応答：12 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]	71 名		
[登壇者]	7 名		
	代表取締役社長	下地 毅	(以下、下地)
	取締役 プラットフォーム本部長	前川 正典	(以下、前川)
	取締役 コーポレート本部長	内藤 満	(以下、内藤)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



上席執行役員	今泉 純 (以下、今泉)
執行役員	渡辺 啓之 (以下、渡辺)
戦略・広報 IR 課 課長補佐	長谷川 俊介 (以下、長谷川)
SDGs 推進室長	山田 耕平 (以下、山田)

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



質疑応答

長谷川 [Q]：それでは、質疑応答に移らせていただきます。大和証券の野澤様よりいただきました。

前期の本社移転に続き、今後予定される構造改革と、期待できる効果があれば教えてください。

二つ目に、今回の決算を踏まえて、中期経営計画（以下 TIP25）最終年度の売上、営業利益の目標値など、今後の方針に関して変更はありますでしょうか。

下地 [A]：ご質問ありがとうございます。

構造改革というところは、大きくはインフラの整備を含めてやってまいりたいと思います。一部、機動的に進めていることはあります。特に SCM の部分ですね。情報発信する上で、お客様にとって最もスムーズに手元に届くよう、しっかりとした物流における投資も含めて改革してまいりたいと考えています。

もう一つは今度の組織から統合人事部ということで、人事を一つにまとめ上げています。それにより、全社員の働きやすさなども含めて改革を進めています。

長谷川 [Q]：二つ目の質問の、TIP25 の最終年度の目標値や今後の方針というところはいかがでしょうか。

下地 [A]：それは TIP25 に発表しています計画がありますが、継続して目標値を全てターゲットとして進めたいと考えています。

野澤 [M]：ご説明ありがとうございます。私からは以上です。

長谷川 [Q]：二つ目の質問です。アムンディ・ジャパンの鈴木様よりいただいています。

2024 年 2 月期、進行期の為替のレートについて教えてください。また、人件費の上昇についてどのようにお考えでしょうか。

内藤 [A]：為替については昨年度に大きな円安局面があって、現状の水準に今は落ち着いており、なかなか先行きが見通しにくいということではあるのですが、基本的には現行水準を前提に、今期の予算については大幅な為替の変動はない形で組んでいます。

長谷川 [Q]：二つ目の人件費の上昇についてはいかがでしょうか。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



内藤 [A]：人件費に関しては、昨今いろいろな企業で賃上げの動きが出ているのはご承知のとおりです。弊社においても、今期の人件費に関しては賃金・賞与など、好業績を受けて増加分を従前以上に予算上も織り込んだ上で、今回の計画を立てています。具体的なパーセンテージについてはご容赦いただきたいのですが、特に今回に関して言えば、若年層、若手を中心としたところをより底上げする形で、全体の人件費をコントロールしています。

鈴木 [M]：分かりました。どうもありがとうございます。

長谷川 [Q]：日経新聞の嶋田様よりいただきました。

国内でも賃上げが進む一方で、世界的なインフレが継続しています。先行きの期待感や懸念についてどうお考えでしょうか。

下地 [A]：映像でも申し上げたように、インフレ以上にやらなければいけないこととして、より個性的なブランドであろうというところに集中したいと思っています。ですので、価値を高める作業をまず、優先順位として高く持っています。

インフレーションの中で、どうお客様に選んでいただけるかについての回答にはなるのですが、先行きの期待や懸念に関しては、懸念は常にあるものです。期待感としては世界に出ていく、海外にもっと進出していこうと考えています。そういった意味での期待感是非常に大きなものとして、新しいアパレルの在り方をつくっていききたいなどは考えています。

嶋田 [M]：ありがとうございます。大丈夫です。

長谷川 [Q]：織研新聞、杉江様よりいただいています。

ブランドランキングでゴルフブランドが通期で初めて1位を取りました。そのことについての所感をお聞かせください。また、ゴルフ需要についての今後の見通しはいかがでしょうか。

下地 [A]：ご質問ありがとうございます。

率直に申し上げて非常にうれしい気持ちでいっぱいです。とはいえ、われわれは6ブランドのゴルフ事業を運営しており、またゴルフにおける展開という切り口だけではなく、より、いかにゴルフウェアがファッションの中で流通していけるかにポイントを置いています。ですので、そういった意味では、ゴルフ場だけの世界観ではなく、街着としての使い方や楽しみ方も含めて、提案していきたいなと思っています。

ウェアブランドとして、ある一定のポジション、評価をいただいたことは、次のステップとして大きな励みになると考えています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



杉江 [M]：分かりました。ありがとうございます。

長谷川 [Q]：続きまして、ISC アドバイザーズの青木様よりご質問をいただいています。

TOP10 の NANO universe の復調の施策について教えてください。効果の発現の時間軸はどのぐらいで復調していくのかという想定を教えてください。

下地 [A]：まず、改善を始めたのが、2022 年 3 月からです。コロナでロックダウンによる店舗休業など、商いがストップした段階から改善を始めていきました。前期第 3 クォーターを含めて緩やかに回復している理由としては、チームの在り方をよりコンパクトにし、チーム編成の役割をまとめてきたところからです。

直近、ご紹介しますと、足元 3 月はプロパー店、アウトレット店、EC 店の全チャンネルで昨年実績を上回り、111%の進捗となっています。特にリアル店舗は、前年から比べ 120%を超えています。だからといって、そう簡単に勢いよくというわけではないですが、堅め堅めに 2023 年 AW 向けの商品構成、単価設定をさらに見直している状況ではあります。

また、3rdParty を中心に、拡大をメインとした EC 戦略にも新たに取り組んでまいりたいと考えています。われわれが NANO universe を資源としてやってきたことは、幅広いお客様にご愛用いただいているというところですので、何といたっても商品施策などを改善してまいろうと考えています。ただ、なにぶん、大きな売り上げ規模を誇るブランドですので、着実なる改善のもとに収益は変わってくるかなと考えています。

青木 [M]：ありがとうございます。

長谷川 [M]：

以上をもちまして、2023 年 2 月期決算説明会を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

下地 [M]：ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

